

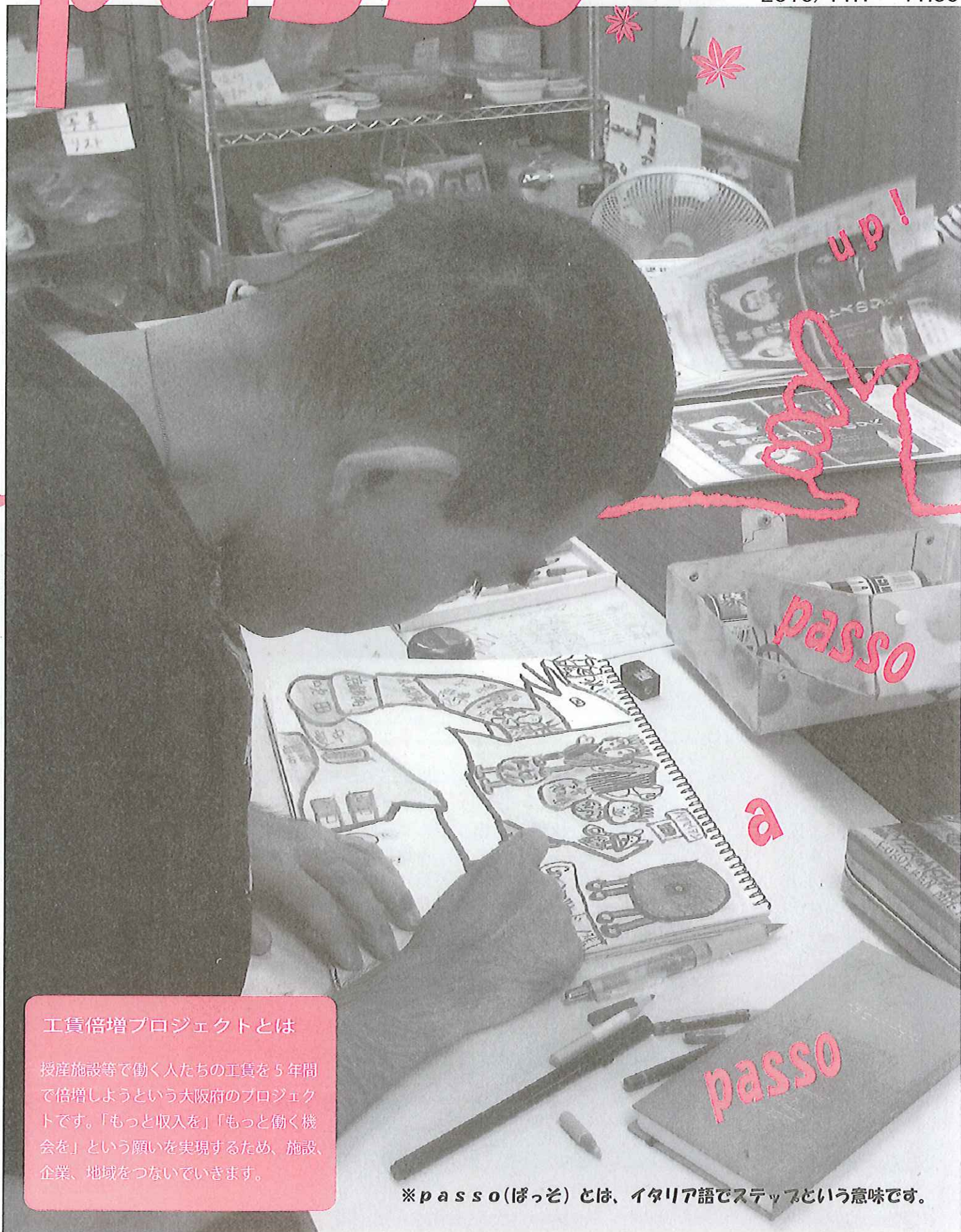
passo

030

ぱっそ

工賃倍増プロジェクト

2010/11.1 - 11.30



工賃倍増プロジェクトとは

授産施設等で働く人たちの工賃を5年間で倍増しようという大阪府のプロジェクトです。「もっと収入を」「もっと働く機会を」という願いを実現するため、施設、企業、地域をつないでいきます。

※passo(ぱっそ)とは、イタリア語でステップという意味です。

うちの ko-chin 倍增計画！

今月は、ワークセンターとよなかをご紹介します。

ワークセンターとよなかでは、内職作業に取り組むかたわら陶芸や絵画など創作活動にも取り組んでおられます。6年ほど前に陶芸が、2,3年前から絵画が授産活動のひとつとして位置づけられるようになり、「アートチャレンジ班」として利用さんたちがつくった作品を商品化して販売する取り組みとなりました。

アートチャレンジ班のメンバーとして活動されている利用者さんは、創作活動を仕事として取り組むことで利用者さん自身に変化が見られるようになったそうです。それは絵を描いたり、作品をつくることで“人の役に立っている”“人に認められている”という意識が芽生えてきたということです。作品を通して他人とコミュニケーションを図れるようになったことは仕事に取り組む上でもとてもよい状況になっています。

社会福祉法人豊中きらら福祉会
ワークセンターとよなか

〒561-0858 豊中市服部西町 5-17-3

TEL 06-6862-2219 FAX 06-6865-1507



※表紙の写真は絵画の創作活動風景です。

とはいえ、ただ作品をつくるだけでは仕事として継続していくのは困難です。そこでワークセンターとよなかは、『アトリエ PIECE (ピース)』という商品ブランド化を考えられ、利用者さんたちが作った作品をアクセサリーやマグネット、ストラップ、クリップ、メモスタンドやTシャツ、文具などの製品にデザインすることで商品としての売り上げアップを図っています。特に文具は実用性が高く自主製品カタログ bibi でも注文の多い商品のひとつで、地元企業からもノベルティとして注文を受けられたそうです。

商品づくりの仕事はその周辺にいろんな仕事を生み出しています。作品づくりに直接かわらなくても、ラッピングや梱包をしたり、展示会やイベントでの販売(接客)に力を発揮される利用者さんもおられるそうです。夢のある商品づくりは苦勞も多いそうですが、一人一人の個性が施設のイメージとなり、いろんな場所で存在感を発揮しています。



施設への個別支援(専門家派遣)が始まっています！

経営ノウハウ 支援

5 施設で
モデル事業を実施中！

工賃倍增プロジェクトでは、2010 年度の取り組みとして、計画実行支援モデル事業を実施しています。対象は工賃引上げシートを提出し、工賃倍增を目標に取り組んでいる作業所で、今年はとくに支援の要望が強い、JD ファクトリー、夢来人の家、ふふふ、ワークセンターとよなか、青い鳥工房の 5 施設がモデルです。各施設に対しては、ファシリテーターが中心になってヒアリングやコーディネートを行い、必要に応じて経営コンサルタント、技術指導者を派遣します。内容は喫茶店の経営改善、下請け加工作業の生産性向上、農業などさまざま。ディスカッションやアドバイスなど数回にわたって、継続的な支援を行います。

その成果は年度末の工賃倍增ミーティングにて報告いたします。

技術力向上 支援

この 9 月から各作業所の技術力の向上をめざして技術指導者派遣が始まっています。

これは、本年度工賃引上げ計画

シート提出時に支援希望があった施設に対して、再度アンケート調査を実施して内容を確認し、それをもとに技術指導者の派遣を行うものです。登録している技術指導者は、製菓・製パン、農業、店舗の改善、雑貨等さまざまな分野に及び、いずれも経験豊富な方ばかりです。「商品をもっと磨き上げたい」、「商品陳列や販促ツールを見直したい」など、作業所からはたくさんの派遣希望をいただいております、具体的なマッチングができたところから指導員の派遣を行っています。

派遣は 1 作業所あたり 1 科目最大 3 回まで。できるだけたくさんの作業所に指導員を派遣していきたいと考えています。また、個別派遣だけでなく、要望によっては集団指導のかたちも考えています。情報提供はチラシや Passo にて。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

第7回 授産製品コンペティションの応募作品を募集!

工賃倍増計画推進事業
**Challenged
Creative
Award2010**

“売れるものづくり”をテーマに、施設・作業所に通うメンバーとスタッフの意欲の向上と新たな販路開拓を目的としたチャレンジド クリエイティブ アワード 2010 を開催します!

■ 募集品目

- ・雑貨部門 (縫製・陶芸・木工・紙製品・皮革製品・トールペイント・アクセサリーなど)
- ・スイーツ部門 (クッキーのみ)

■ 応募条件

- ・各施設で各部門 1 作品。
- ・制作 (製造) 段階で必ず利用者が参加していること。
- ・雑貨、クッキーは、ラッピングをした販売用商品と、中身だけの商品、2 点が必要となります。

■ 募集期間

- ・平成 22 年 11 月 1 日 (月) ~ 12 月 24 日 (金)
 - ・申し込み受付期限 平成 22 年 12 月 24 日 (金) まで。
- ※作品送付については、申し込み受付後に事務局から連絡します。

■ 応募方法

- ・11 月号の pass o (申込用紙同封)、工賃ホームページ、大阪府ホームページにて募集。
 - ・応募用紙を申し込み受付期限内に応募先に送付。
- 応募用紙はホームページにも掲載しています。

■ 募集対象・・・工賃引上げ計画シート提出済み作業所

※未提出作業所は下記へお問合せください。

- ・大阪府内 (政令市・中核市含む) 自主製品を製作している授産施設、小規模通所授産施設、就労継続支援 (A 型・B 型) 事業所、福祉工場、地域活動支援センター、小規模作業所。

■ 応募先

- ・〒540-0006 大阪市中央区法円坂 1 丁目 1 番 35 号
大阪府教育会館 5 階
大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合
(愛称: エル・チャレンジ)

■ 応募上の注意

- ・送付、搬入、返却に関する費用は応募者 (施設) の負担となります。
- ・知的財産権などの法規を遵守していること。

【お問い合わせ先】

TEL 06-6949-3551 エル・チャレンジまで

第3回 経営・技術セミナー報告

第3回 経営セミナー

最近、カフェや雑貨店などショップに関心を寄せる作業所が増える中、「今、流行の店舗づくり」をテーマに経営セミナーを行いました。

まずは、マーケティングの専門家である(株)フランの竹川智子さんが、「店舗集客を考える」と題して、最近の市場のトレンドや店舗演出の流れを説明。その後、店舗設計の専門家であるマンガローブの奥野正文さん、奥野由紀子さんから「店舗演出を考える」と題して店づくりのコンセプトや構成要素、さらには最近の店舗計画やディスプレイの実例の紹介がありました。その後、4 グループに分かれて、作業所さんの実際の事例を題材にディスカッション。さまざまな質問やアドバイスが飛び交っていました。



9月30日(木)
参加施設数: 18 施設
参加人数: 22 人

第3回 技術セミナー

スタッフが作業を請け負ってしまうのではなく、利用者さんの就労支援につなげるためにはどうすべきなのでしょう。第3回技術セミナーは「障がいのある人にわかりやすく教える技術」がテーマ。講師は社会福祉法人加島友愛会の酒井大介さんと玉城由美子さんでした。「教える手順が場当たり的になっていないか」、「“アレ”、“ソレ”が多くないか」、「否定的な声かけが多くないか」などの自己チェックには思いあたるフシがいっぱい。また、わかりやすく教える技術の3要素(「課題分析」、「最小限の介入」、「指示の4階層」)には、具体的に役立つお話が満載でした。さらに、クリアファイルの加工作業を通じた実践的なロールプレイや治具作成演習もあり、参加者から「とても参考になった」との声が相次いでいました。



10月6日(水)
参加施設数: 27 施設
参加人数: 32 人

Voice

10月13日(水)、たくさんの企業様のご協力により、中央区のオフィス街で Midi Marche (ミディ・マルシェ) をオープン!! 参加された作業所さんとお買い上げいただいた企業の社員様の声をほんの一部、ご紹介します。

しゃれたオフィス街の販売は日頃なかなかなく、他の作業所と一緒に販売する機会もなかったので、とてもいい経験になりました。利用者さんも作業所の店舗でしている接客が活かせる場となり、大変張り切っておられたのが印象的でした。一度お買い上げいただいたお客様が追加で又買いにこられた嬉しい場面もあり、完売となりました。(コロッケ・ジョブサイト・よど)

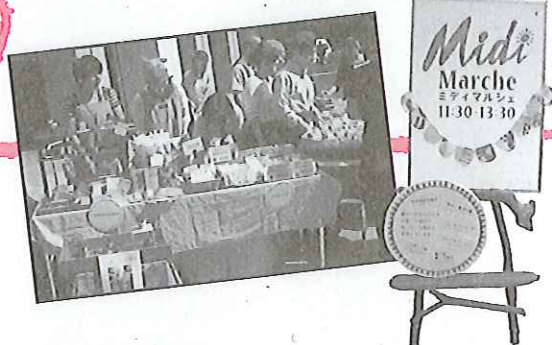
新しい販売先で作業所内が活気づきました。「どれだけ売れるか」不安な気持ちで行きましたが、完売し気持ちよく帰ることが出来ました。利用者さんも「2日分働いた～疲れた～」と言いながらも明るくいい顔をしていました。(パン・ベーカリーえいか)

今回、初めて6施設が集まってひとつのお店を出すという出店に参加でき、いい経験ができました。デザイナーの方にディスプレイの仕方を提案していただいたり、他の施設の方も一緒にPRしあって販売したり普段と違った雰囲気でもとても楽しい時間の中で完売しました。(クッキー・ふれあい工房)

【社員様・男性】いきいきと活動されている皆さんの笑顔に元気をもらいました。私が購入したときに、お釣りを一生懸命計算、確認し、間違えなく渡せたときのホッとした表情が初々しくて、こちらも一緒にうれしくなりました。

【社員様・女性】お昼時にお弁当を買いに出たら、あんまりいいにおいがしていたのでコロッケを買いました。ひとつひとつ違う味で「次は何？」と楽しみながらおいしくいただきました。ごちそうさまでした。

【社員様・男性】パンケーキ、プリン、クッキーを購入し、お土産として家に持ち帰りました。家族みんなでわけあい楽しいひと時を過ごさせていただきました。もっとたくさん買ってあげば・・・ちょっと失敗です! 次回も楽しみにしています。



『想いの数珠つなぎ、その1』

9月16日(木)、吹田ロータリークラブにて卓話をさせていただきました。

日頃、話しなれている受発注コーディネーターも地域企業の会長様や理事長様を前に、さすがに緊張しましたが、会員の皆様はとても熱心に聴いていただき、会の終了後早速、声をかけていただき、マンションの清掃をさせていただくことになりました。

その後も、パーベキューの材料を揃えるご相談や記念品のご相談をいただいております。

このような機会を作っていただいたのは、企業OBの方からロータリークラブの役員様へとつないでいただき、役員の方が色々お骨折りいただいたことによるもので、とても感謝しております。

こうして、吹田ロータリークラブの卓話もオフィス街のミディ・マルシェも人から人へと想いがつながり実現できました。

工賃倍増プロジェクトを実施して4年目、想いの数珠つなぎがさまざまな分野で広がっています。

想いがつながると私たちにも予想できない展開になり、「なんだかすごいなあ・・・」と感動しながら、真っ赤に染まり行く山を眺める秋の夕暮れです・・・。

こちら編集部

passo に関するご意見、ご感想をお待ちしています!
ふと気づいたことやどんなことでも、みなさまの声を聞かせてください。

お問い合わせ先

大阪府工賃倍増計画推進事業運営主体：大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合(愛称：エル・チャレンジ)
大阪府中央区法円坂1丁目1番35 大阪府教育会館5階

TEL: 06-6949-3551 FAX: 06-6920-3522

<http://www.l-challenge.com/>

<http://www.l-challenge.com/kouchin/index.html>

